



落 五 便 り 1 月 号


新宿区立落合第五小学校



伝えたい気持ち

校長 傳田 学

今ではすっかり耳慣れた元号の令和もいよいよ8年目となり、13 日間の冬季休業日を終えた可愛い落五の子どもたちが学校に戻ってきてくれました。子どもたちの元気な姿と明るく響く声が嬉しい限りです。

令和8年の十干十二支は丙午（ひのえ うま）です。丙は火の意で、太陽のような明るさや情熱、そして強い意志を表しています。午もまた火の意をもち、勢いと勇敢さ、そして独立心の強さを表しています。重なる火の意をもつ丙午の年は、「情熱と行動力、燃え盛るエネルギーで道を切り拓く」という縁起のよさがあるそうです。子どもたちの情熱を大きな成長へとつなげるべく、教職員一同、今年も教育活動に邁進していきます。

さて、干支と言えは年賀状ですね。私は毎年 100 枚以上の年賀状を書きます。今現在お世話になっている方々だけでなく、何十年もお会いしていない先輩方や友人にも出しています。枚数が多いので、宛名を含めほぼプリンタ様頼りになってしまいますが、必ずしているのは肉筆で1～2文のメッセージを書き添えることです。電話やメールは手軽でよいのですが、心を伝えるには手書きの文字が一番です。「あなたのことを思いながら書きましたよ」という気持ちが少しでも伝わると嬉しいなと思ひながら、毎年末に急ぎ書いています。

年賀状は古くは平安時代からあったとされ、今から千年ほど前の儒学者 藤原 明衡（ふじわらの あきひら）が新年の挨拶を含む書簡の模範文例集「明衡往来（めいごうおうらい）」（今で言う手紙の書き方マニュアル本）を残しています。当時は新年になると、親戚や友人にはできる限り直接会いに行き挨拶していたようですが、どうしても訪問できない遠方の方にのみ、年賀状を送る風習があったようです。そして、江戸時代の飛脚の登場によって、広く庶民にも普及していきました。年頭に限らず、**日頃からの感謝の心を直接伝えたり、手紙に書いたりすることの大切さ**を、昔の人は現代以上に強く感じていたのだと思われます。

今年も、本校を支えてくださる全ての方々への感謝の心を忘れず、様々な場面でその感謝の気持ちが伝わるよう、教育活動を工夫・充実させていきます。

「ありがとう」の気持ちが伝わる落五小に。

本年もご協力くださいますよう、お願いいたします。

日 曜		1 月 の 行 事 予 定 SC教育相談日(9、13、20、23、27、30) ★朝モジュール(3～6年)・朝学習(1・2年)	朝遊び
8	木	B時程4時間授業 下校12時10分頃 始業式 安全指導 給食なし	
9	金	席書会 給食始	
10	土		
11	日		
12	月	成人の日	
13	火	★4時間授業 かしわトーク 発育測定(1、2年)	○
14	水	朝読書 発育測定(3、4年)	
15	木	避難訓練 委員会活動 発育測定(5、6年)	○
16	金	5時間授業 かがやき集会 学校公開①	
17	土	B時程5時間授業 学校公開② 道徳授業地区公開講座	
18	日		
19	月	振替休業日	
20	火	★	○
21	水	B時程4時間授業	
22	木	★ クラブ活動(3年生クラブ見学)	○
23	金	健康委員会集会	
24	土		
25	日		
26	月	全校朝会 美術鑑賞教室(5年)	
27	火	★ 笑顔と学びのプロジェクト(2校時:下学年、3校時:上学年)	○
28	水	B時程4時間授業	
29	木	かしわトーク	○
30	金	かがやき集会	

生活目標:外に出て体を動かそう
保健目標:外で元気に遊ぼう
給食目標:栄養を考えて何でも食べよう

